

創立30周年記念事業 震災被災地支援ボランティア活動

8月8日（金）、9日（土）、11日（月）の3日間、生徒会執行部員9名が宮城県名取市閑上（ゆりあげ）地区で震災被災地支援のためのボランティア活動を行いました。

当初台風の影響が心配されましたが、当日は無事雨も上がり、活動を実施することができました。かつて5000人以上が住んでいた町は津波の被害によって更地になり、雑草が生え放題となっていました。今回は、名取市の未来に夢と希望の花を咲かせる「花プロジェクト」という活動に協力させていただきました。除草作業や細かい瓦礫の処理は人の手で行うほかなく、被災地への思いを行動に移せたことで、生徒は充実感を得ることができたようでした。

その他、復興支援の宿「旅籠まつしま香村」のご主人による被災体験講話や、旧閑上中学校慰霊碑の社務所である「閑上の記憶」の語り部さんによる被災体験講話を伺い、慰霊碑に刻まれた犠牲者の名前に触れ、決して忘れられない体験となりました。また、8月11日（月）には、昨年に続き釜石市を訪問し取材活動を行いました。

現在生徒会執行部では、秋田青年会議所の方々とともに、秋田の暮らしの中で防災をどのように意識すべきかを考える「あきた防災シミュレーションプログラム」の作成に取り組んでいます。今回取材できたことを、このプログラムの作成に活かしてきたいと思います。

これらの経験は、生徒自身がこれからの生き方を考えることにつながっていくことと思います。

